

都市再生整備計画(第6回変更)

ぬまづ えきしゅうへん
沼津駅周辺地区

しずおか ぬまづし
静岡県 沼津市

平成22年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・都市機能の高度化と拠点の整備、賑わいの再生 大手町地区第一種市街地再開発事業により商業施設と駐車場及び住宅を整備する。また、駅南北の土地区画整理事業による都市基盤整備とともに、既存の建物の更新を促進する。駅北の拠点形成地区では拠点施設整備に向けて静岡県・沼津市が連携し、一体的な事業を推進する。駅周辺地区全体で統一的思想のもとユニバーサルデザインを進める。また、駅北側の(都)七通線、南口駅前広場において修景整備を行い、良好な都市景観の形成を図る。また、空き店舗を活用した「まちの情報館」を通して、各種まちづくりに関する情報を来街者に提供するとともに、まちづくりに関する人材育成等の支援を行なう。 また、都市機能を高度化する施設として(仮称)ぬまづ健康福祉プラザを整備するとともに駐車場を併設して、人々の交流・連帯を支援し、市街地の活性化を図る。</p>	<p>沼津駅南第一地区土地区画整理事業(関連事業、沼津市)、静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業(関連事業、都市再生機構)、大手町地区第一種市街地再開発事業(基幹事業、関連事業、沼津市) 地域生活基盤施設整備(基幹事業／駐車場、沼津市)、高質空間形成施設整備(基幹事業、沼津市)、まちの情報館運営事業(提案事業／沼津地域産業振興協議会)、ユニバーサルデザイン基本計画策定(提案事業／事業活用調査、沼津市)、地域交流センター(仮称)ぬまづ健康福祉プラザ(基幹事業／高次都市施設、沼津市)、(仮称)ぬまづ健康福祉プラザ(提案事業／地域創造支援事業、沼津市ほか2市3町)東部コンベンションセンター整備事業(関連事業／静岡県、沼津市)、事業効果分析(提案事業／事業活用調査、沼津市)</p>
<p>・豊かな自然環境を活用した、うるおいやすらぎの空間整備 四季の花で街角を彩る「四季彩まちづくり推進事業」などのソフト事業と連携して、地区の魅力を高める。狩野川堤防上の歩行者自転車道や街角に誘導サインを設置して、沼津港周辺の飲食街や沼津港大型展望水門「びゅうお」、沼津御用邸記念公園、千本浜公園などの観光拠点との連携強化を行なう。さらに「狩野川楽市」をはじめ多角的なイベントを通して、来街者のニーズを把握し、市民及び観光客の利用促進を図る。 また、沼津駅周辺の市街地においても双葉町公園を拡張整備することで、快適でくつろぎのある空間を創出し、都市環境整備を図る。</p>	<p>地域生活基盤施設整備(基幹事業／情報板、沼津市)、河川・狩野川改修事業(関連事業／国土交通省)、高質空間形成施設整備(基幹事業／河川護岸修景、沼津市)、狩野川楽市開催事業(提案事業／狩野川楽市実行委員会)、四季彩まちづくり推進事業(提案事業／TMOぬまづ)、双葉町公園整備事業(基幹事業／沼津市)</p>
<p>・交通環境の整備 駅南においては、街路事業及び大手町地区第一種市街地再開発事業と沼津駅南第一地区土地区画整理事業により東西軸である(都)平町錦町線の整備を行なう。また、駅北では、(都)納米里本田町線の整備により自動車交通の円滑化を図るとともに、歩行者空間の拡充を行なう。駅南口駅前広場及び(都)七通線にストリートファニチャーを設置して、交流と憩いの空間を創出する。地区内の自動車交通の流入・流出を円滑にするため地区南部に位置する道路の交差点の改良を行なう。沼津駅や地区内の拠点と沼津港などの賑わいの拠点を連絡する循環バスを運行して、公共交通の利便性の向上と利用促進を図る。また情報板を設置して舟運との連携を強化する。</p>	<p>沼津駅南第一地区土地区画整理事業(関連事業、沼津市)、静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業(関連事業、都市再生機構)、大手町地区第一種市街地再開発事業(基幹事業、関連事業、沼津市) 街路事業(都)平町錦町線道路改良事業(基幹事業、沼津市)、街路事業(都)納米里本田町線道路改良事業(基幹事業、沼津市)、道路(基幹事業／交差点環境改善、沼津市)、狩野川舟運事業(関連事業／沼津市)高質空間形成施設整備(基幹事業、沼津市)、循環バス運行支援事業(提案事業、伊豆箱根鉄道㈱、伊豆箱根バス㈱)</p>
<p>その他</p>	
<p>中心市街地活性化の推進体制</p> <p>(1) TMOの設立と機能強化 ・中心市街地活性化を実現するための施策は、ハードからソフトにわたり、その事業主体(担い手)も行政、商業者・商店街、市民など多様な立場の人々である。こうした様々な担い手による取り組みを、継続的、効果的に推進していくためには、中心市街地の活性化という目標を共有し、多様な担い手の役割や取り組みを企画調整していくことが重要であり、沼津市においては、このための組織として、「TMOぬまづ」が平成13年に設立されている。この機能をさらに強化しながら、中心市街地の活性化に市民、行政が一体となって取り組んでいくものである。</p> <p>(2) 新たな担い手の育成 ・中心市街地は、市民が住み、集い、楽しむ場であり、このまちづくりは商業者のみならず広く市民が参加し、積極的にその役割を担っていくことが望ましい。近年、狩野川周辺のまちづくりを進める「沼津セントラルパーク構想」に呼応して、市民の手作りによるイベント「狩野川楽市」が定期的で開催されるなど、市民の間でも、まちづくりへの関心が高まっている。こうした中で、新たに市民のまちづくり活動と情報交流の拠点として「まちの情報館」もオープンしており、この場を活用しながら若い世代を含めた新しいまちづくりの担い手の育成に取り組んでいくものである。</p> <p>(3) 担い手の連携 ・中心市街地の活性化の担い手は、多様であり、その持つ力も様々である。まちの活性化をめざす活動が効果的に推進されていくためには、お互いの知恵と力を持ち寄り、結集していくことが重要であり、TMO(沼津市中心市街地活性化協議会)の組織や「まちの情報館」の場を活用しながら、情報交流と事業の連携を図っていくものである。</p> <p>沼津駅周辺地区における景観形成について</p> <p>・沼津駅周辺地区においては、地区に相応しい良好な景観形成に向け重点地区として整備を進める。駅の近傍では、土地区画整理事業等に伴い実施される建築物の更新に合わせて、道路、駅前広場等の景観の向上に努める。</p>	

<都市再生整備計画の整備方針等>

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に簡条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	沼津市	地区名	沼津駅周辺地区	面積	233 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標
<p>駅周辺の賑わいの再生と活性化</p> <p>目標1 中心市街地の都市機能の高度化と拠点性を高め、賑わいを再生する。</p> <p>目標2 豊かな自然環境を活かし、まちの魅力を高めることにより定住人口・交流人口の増加を図る。</p> <p>目標3 交通環境の改善により交通の円滑化と歩行者の快適性の向上を図り、人・物の流れを促進する。</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>沼津市の中心市街地は、静岡県東部地域において、商業をはじめとする経済、文化の中心としての機能を果たしながら発展してきた。しかしながら、社会環境が変化する中で、郊外への大規模商業施設の立地、大型店舗の撤退等を背景に求心力が徐々に低下するとともに、中心市街地の居住人口は減少し、少子高齢化の進展がそれに拍車をかける形で空洞化が進んでいる。</p> <p>第3次沼津市総合計画(2001年～2010年)においては、「人が輝き、まちが躍動する交流拠点都市・沼津」という将来の都市像を掲げ、それを実現するために必要なまちづくりの方針を明らかにしている。この総合計画と都市計画の基本方針である沼津市都市計画マスタープランにおいては、沼津駅を中心とする本市の都心地区について、「県東部地域全体の都市拠点として、また首都圏をはじめとする広域交流の玄関口として、その魅力と機能を高めていく必要がある。」と位置づけている。さらに総合計画の推進計画において、目指す将来都市像の実現に向け、重点的に推進すべきプロジェクトとして「魅力に満ちた中心市街地の創造」を取り上げ、これまでの都市集積を活かしながら、高度な都市機能の導入や、人の回遊を促す魅力づくりを進め、中心市街地を多くの人が集うにぎわい拠点とすることを目指している。</p> <p>こうした中で、沼津市においては、平成12年3月に当地区を含む163haを対象区域として、「沼津市中心市街地活性化基本計画」を策定し、中心市街地における市街地の整備改善と商業等の活性化の一体的な推進に取り組んでいるところである。</p> <p>このような総合計画及び都市計画、中心市街地活性化基本計画に示された基本方針に基づき、沼津駅周辺のゾーンにおいては、鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業に取り組んでおり、その一環として、平成11年度から地域振興整備公団(現都市再生機構)が静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業に着手している。また、平成14年度には、大手町地区第一種市街地再開発事業及び沼津駅南第一地区土地区画整理事業の事業認可を受けている。</p> <p>また、三園橋から永代橋に至る狩野川周辺のゾーンを「沼津セントラルパーク」と位置づけ、狩野川の空間を活用した歩行者・自転車道の整備や関連する街路整備を行なってきた。これら2つのゾーンの持つ特質を相乗的に活かしつつ、各種事業を一体的に進め、県東部の中核的都市に相応しい「潤いとやすらぎのある賑わいあふれる中心市街地」の再生に取り組んでいる。</p> <p>さらに、平成15年7月には「沼津都心再生マネジメント会議」を設置した。この会議は、鉄道高架事業の事業主体である「静岡県」と駅北地区で土地区画整理事業を進めている「都市再生機構」と駅南地区で関連事業を進める「沼津市」の3者で組織する「沼津都心拠点整備調整会議」と全国的な見地から専門的な助言などを行なう学識経験者やまちづくりの専門家からなる「コーディネーター会議」で構成されている。</p> <p>今後、この会議では、まちの将来像を描くとともに市民と協働して、まちづくりを進めるシステムを構築し、都市景観形成やユニバーサルデザインの進展を図る。</p> <p>これまでも歩道修景整備などの実施にあたっては、関連商店街や自治会組織の意見を聴き、整備を進めてきたが、さらにハード整備をより効果的なものとするため、市民によるまちを舞台としたイベント「狩野川楽市」の開催や空き店舗を活用した「まちの情報館」の設置などにより、市民、事業者など幅広いまちづくりの担い手の力を結集して、中心市街地のまちづくりを展開している状況にある。</p> <p>また、「健やかな家庭を築き地域の連携が高まるよう支援する場」という基本理念のもとに市民が健やかな家庭と福祉の心を育みながら、主体的に福祉活動に取り組み、地域福祉活動と障害者支援を活発に実践する場となるよう健康福祉プラザの整備を位置付けた。</p>

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・拠点性 広域な交流人口を受け入れる拠点機能を集積させ静岡県東部地域における中心性の強化が求められている。 ・魅力ある商業空間の創出 広域にわたる商圏の消費者ニーズを満たすために特色ある商店が集積する魅力ある商業空間の創出が求められている。 ・豊富な自然環境や文化の活用 中心市街地を流れる狩野川など豊富な自然環境と育まれてきた文化・伝統を活かした、沼津らしさを実感できるまちづくりが求められている。 ・快適でくつろぎのある空間の創出 快適にまちを歩けるように、安全な歩行空間の整備や周辺の自然環境を活かし、花や緑にあふれ、市民に親しまれる空間の整備が求められている。 ・定住を促進する居住環境の充実 商業施設や医療施設が立地する中心市街地の特性を活かし、様々な世代が地域に住み、生活することが求められている。

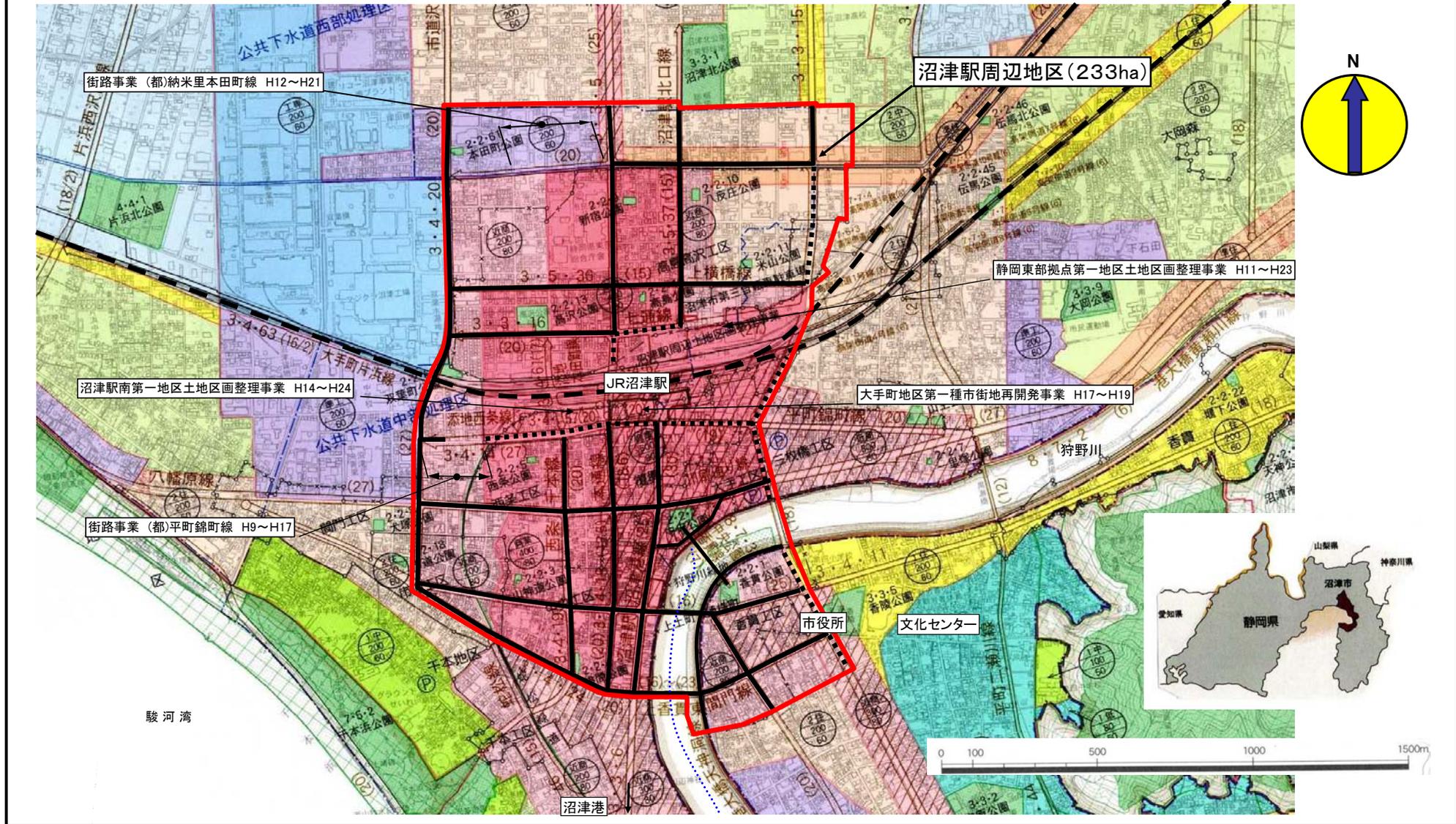
将来ビジョン(中長期)
<p>豊かな自然・歴史のもとで、人が住み、訪れる、生活交流ステージ にぎわい沼津</p> <p>沼津市中心市街地活性化基本計画では、「拠点性」「商業振興」「文化・環境」「快適性・くつろぎ」「定住・住みやすさ」という5つの課題となる視点を据えながら、目指すべき中心市街地の姿として上記の都市像を掲げている。</p> <p>さらに同計画では、「いろいろなところから人が訪れる」「商業に活気を感じることができる」「自然と文化を感じることができる」「ゆとりある空間で出会いとふれあいがある」「中心市街地で住みつけられる」という5つの具体的目標を設定し、駅北、駅周辺、駅南、狩野川周辺の4つのゾーンを設けて、それぞれの地区特性に応じた施策の展開を進めることとしている。</p> <p>また、沼津のもう一つの賑わいの拠点である沼津港周辺地区と、中心市街地との回遊性を高め、連携を図ることにより、より沼津らしいまちの魅力を高めていくものとする。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 中心市街地の歩行者数	人/日	中心市街地における1日の歩行者数	まちの賑わいを直接反映する来街者数を指標として、減少傾向から増加傾向への転換を目指す。	71,000	平成15年度	75,000	平成21年度
2. 沼津駅の利用者数	人/年	沼津駅の年間乗車人数	交流人口の回復を示す指標として、駅利用者の減少傾向に対して、歯止めをかけることを目指す。	8,476,000	平成14年度	8,000,000	平成21年度
3. 沼津駅周辺地区の宿泊者数	人/年	沼津駅周辺地区の年間宿泊者数	産業活動における拠点性を示す指標として、従前値の8%増を目指す。	183,000	平成15年度	200,000	平成21年度

都市再生整備計画の区域

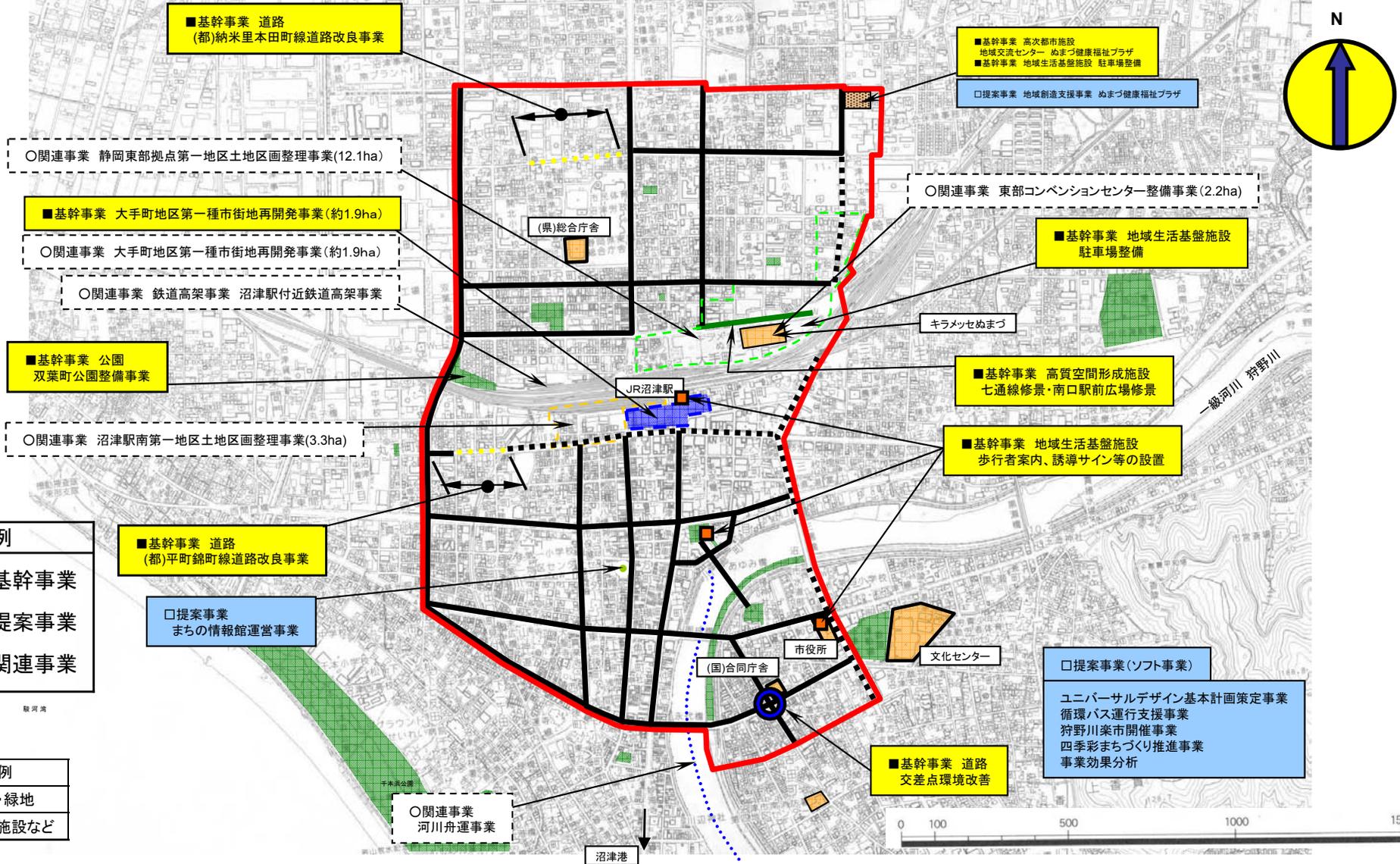
沼津駅周辺地区(静岡県沼津市)	面積	233 ha	区域	大手町1丁目ほか
-----------------	----	--------	----	----------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



沼津駅周辺地区(静岡県沼津市) 整備方針概要図

目標	駅周辺の賑わいの再生と活性化	代表的な指標	中心市街地歩行者数 (人/日)	71,000 (15 年度) → 75,000 (21年度)
			沼津駅の利用者数 (人/年)	8,476,000 (14 年度) → 8,000,000 (21年度)
			沼津駅周辺地区の宿泊者数 (人/年)	183,000 (15 年度) → 200,000 (21年度)



凡 例

	基幹事業
	提案事業
	関連事業

凡 例

	公園・緑地
	公共施設など